

竹馬川洪水ハザードマップ



あわせて、「北九州市防災ガイドブック」を確認しておきましょう。避難に活用できる気象情報・水位情報や非常持ち出し品リストなど、より詳しい内容を掲載しています。

防災ガイドブック掲載URL
<http://www.city.kitakyushu.jp/kiki-kanri/13801096.html>



発行 令和2年2月
問い合わせ先 北九州市危機管理室危機管理課
〒803-8501北九州市小倉北区城内1-1
TEL：(093)682 2110

洪水避難の心得

気象情報・水位情報・避難情報を積極的に集め、浸水前の安全なうちに避難しましょう。大雨に伴い土砂災害が発生することもあります。

浸水した後は、より高い場所へ避難しましょう。

気象情報 水位情報 避難情報

これらの情報は、登録制防災メール及びLINE等により入手できます。

登録方法はこちら

避難情報は、テレビ・ラジオ、緊急速報メール（エリアメール）、インターネット、広報車などからも入手できます。

<p>警戒レベル3</p> <p>避難準備・高齢者等避難開始</p> <p>高齢者等は立退き避難する。その他の者は、立退き避難の準備をし、自発的に避難する。</p>	<p>警戒レベル4</p> <p>避難勧告 避難指示（緊急）※1</p> <p>※1 緊急的又は重ねて避難を促す場合に発令</p> <p>避難所等への立退き避難を基本とする避難行動をとる。災害が発生するおそれが極めて高い状況等となっており、緊急の避難をする。</p>	<p>警戒レベル5</p> <p>災害発生情報※2</p> <p>※2 可能な範囲で発令</p> <p>既に災害が発生している状況であり、命を守るための最善の行動をする。</p>
--	---	---



原則 / 早めの避難

逃げ遅れたら / その場そのときで命を守る行動を

浸水前の早い段階で安全な場所へ
水の中を避難するのはとても危険です。浸水前の避難にどの情報が活用できるかを北九州市防災ガイドブックなどで確認し、避難のきっかけをつかみましょう。

浸水した後は、より高い場所へ
浸水後は無理に避難せずに、近くの高い建物や自宅の高い場所で身を守りましょう。浸水の状況によってはとどまることが危険な場合や浸水が長引いて孤立してしまう地域があります。

早い段階での避難先
避難できる安全な場所を記入しましょう。
[記入欄]

裏面を参考に、避難所に限らず、お住まいの地域の状況を確認し、2つの避難先を記入欄に記入しましょう。

逃げ遅れたときの避難先
近くにある高い建物や高い場所を記入しましょう。
[記入欄]

登録制防災メール及びLINE

<p>もらって安心</p> <p>災害情報配信サービス（北九州市）</p> <p>気象情報、避難情報等</p> <p>登録メール e-kitakyushu@xpressmail.jp</p>	<p>防災メール・まもるくん（福岡県）</p> <p>気象情報、避難情報等</p> <p>登録メール mamoru@bousaimobile.pref.fukuoka.jp</p>	<p>北九州市LINE</p> <p>市政情報、避難情報等</p> <p>LINEの検索欄で「北九州市」を検索</p>
---	--	---

裏面を見て、自宅（事業所）がこのような区域にある場合には、自宅（事業所）以外への避難が必要です。

流速が速く、木造家屋が倒壊するおそれがある区域

裏面のマップでは、

洪水の際に地面が削られるおそれがある区域

裏面のマップでは、

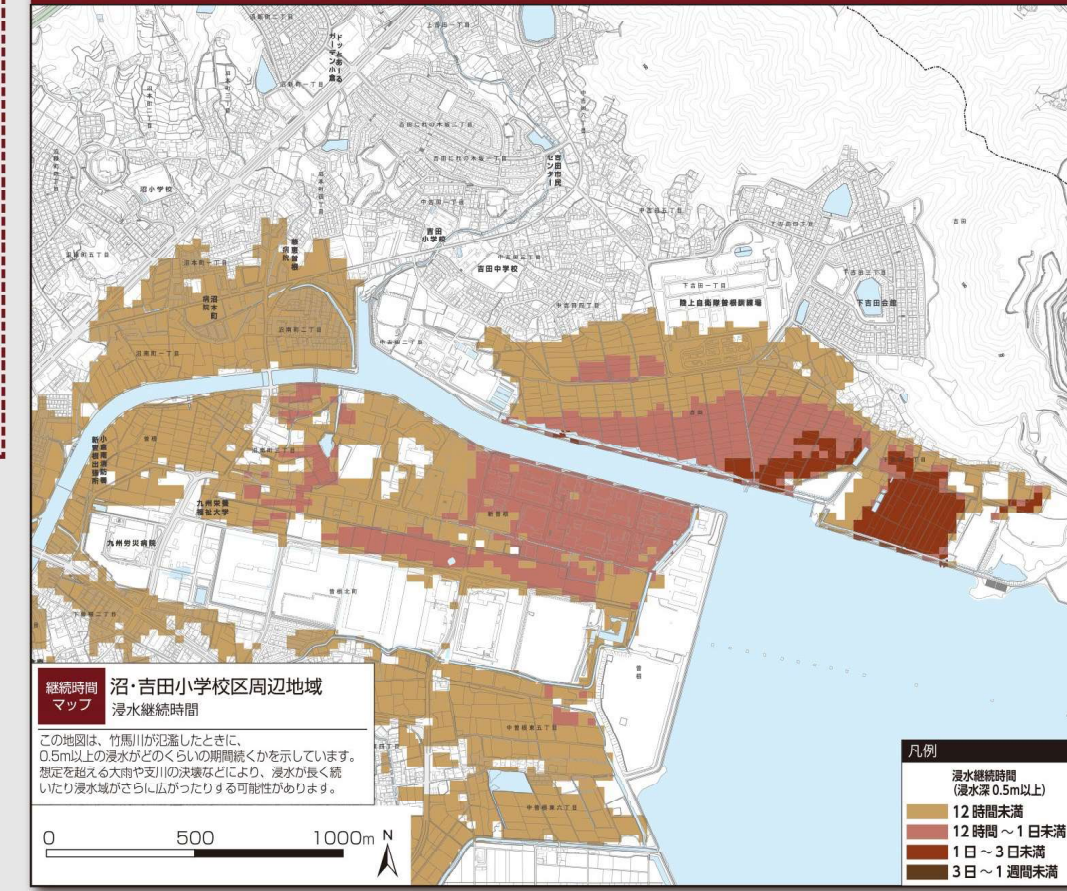
居住階が水に浸かってしまうおそれがある区域

裏面のマップでは、

5m以上	3階床上浸水が予想される
3~5m未満	2階床上浸水が予想される
0.5~3m未満	1階床上浸水が予想される
0.5m未満	1階床下浸水が予想される

いずれかにあてはまる場合には、まず、早い段階で安全な場所への避難を考えましょう。また、逃げ遅れたときの避難先として、近くの高い建物などを考えておきましょう

浸水が長引くと、とどまることが可能でも孤立するため、浸水前に浸水想定区域外に避難することが重要です。



このハザードマップに使用した竹馬川の浸水想定区域図について
平成27年5月の水防法の改正に基づいて、令和元年5月に福岡県は想定最大規模の降雨により竹馬川が氾濫した場合に、浸水が想定される区域と浸水深等を公表しました。このハザードマップは、想定最大規模の浸水想定を基に作成しています。